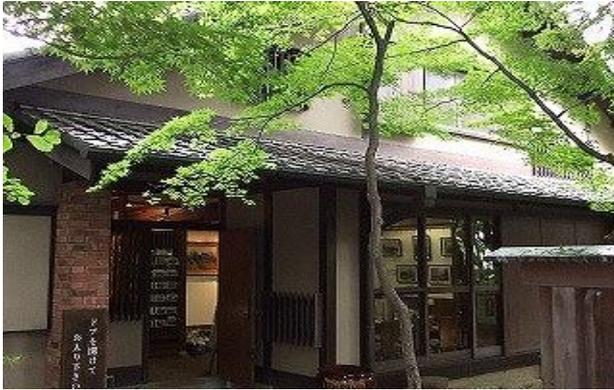


向井潤吉アトリエ館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和37年(62年)	238.12㎡	490.42㎡	238.12㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
弦巻2-5-1	木造	(地上/地下) 2/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を享受するとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	25,911	181,970	23,370	179,909
	物件費等	23,035	139,187	22,811	146,037
	物件費	23,035	81,580	22,811	89,680
	うち光熱水費	595	8,362	865	12,042
	うち委託料	21,582	70,821	21,530	74,634
	うち土地建物設備賃借料	832	169	416	98
	維持補修費	0	277	0	96
	扶助費・補助費等	0	57,330	0	56,261
	減価償却費	0	21,790	0	21,738
	その他	0	0	0	0
	(配賦)人件費	1,414	13,444	559	12,134
	(配賦)間接コスト	1,462	7,549	-	-
投資的経費	0	8,227	0	6,772	
収入	総収入	440	2,683	543	2,767
	使用料・手数料	440	1,383	543	1,442
	その他	0	1,300	0	1,325
建物情報	建物取得価額	25,022		137,081	
	建物減価償却累計額	25,022		54,832	
	建物残存価額	0		82,249	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	管理運営委託 21,582千円	駐車場賃借料 832千円	光熱水費 595千円(電気料 568千円)
令和5年度	管理運営委託 21,530千円	光熱水費 865千円(電気料 830千円)	駐車場賃借料 416千円

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和9年〕	10年間	築65年まで 〔令和9年〕
試算	計画改修費	—	0.0億円	—	0.0億円
	物件費等の積算額	—	1.6億円	—	0.9億円
	合計	—	1.6億円	—	0.9億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		3,263	3,094	3,659	3,942	4,046

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年3月31日から同年6月1日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	3,094	47,593	4,046	99,024
m ² あたり総コスト(千円)	108.81	87.96	98.14	81.24
1人あたり総コスト(千円)	8.37	8.95	5.78	3.83
m ² あたり物件費等(千円)	96.74	57.11	95.80	60.81
1人あたり物件費等(千円)	7.45	5.70	5.64	3.06
対前年増減率光熱水費(%)	11.21	-	-1.03	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【利用状況】 利用者数が前々年度の5割に減少。(前年度からは9割に減少。)</p> <p>【施設間比較】 ㎡あたりの物件費等が同施設分類(美術館等)の中で最も高い。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【施設間比較】 ㎡あたりの物件費等が同施設分類(美術館等)の中で最も高い。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【利用状況】 令和元年度は、中長期改修工事により約6か月休館した。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。</p> <p>【施設間比較】 同施設分類の中では専有面積も小さいため、比較すると㎡あたりの物件費等が割高となっていると考えられる。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【施設間比較】 同施設分類の中では専有面積が小さいため、比較すると㎡あたりの物件費等が割高となっていると考えられる。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、SNSをとおして施設の魅力である趣のある建物や緑豊かな庭の風景を発信するなど、デジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進することで、利用者の増加を図る。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 ・SNSの活用注力し、展覧会やイベントの開催について積極的に情報発信するとともに、見どころなどを紹介する動画コンテンツを制作・配信するなど、利用者の増加を図る。

宮本三郎記念美術館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成16年(20年)	476.98㎡	430.59㎡	476.98㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
奥沢5-38-13	RC造	(地上/地下) 2/0	-			





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を享受するとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	26,977	181,970	26,288	179,909
	物件費等	21,359	139,187	22,829	146,037
	物件費	21,359	81,580	22,762	89,680
	うち光熱水費	1,107	8,362	1,266	12,042
	うち委託料	20,252	70,821	21,496	74,634
	うち土地建物設備賃借料	0	169	0	98
	維持補修費	0	277	0	96
	扶助費・補助費等	0	57,330	67	56,261
	減価償却費	2,742	21,790	2,742	21,738
	その他	0	0	0	0
	(配賦)人件費	1,414	13,444	717	12,134
(配賦)間接コスト	1,462	7,549	-	-	
投資的経費	0	8,227	12,172	6,772	
収入	総収入	266	2,683	378	2,767
	使用料・手数料	266	1,383	378	1,442
	その他	0	1,300	0	1,325
建物情報	建物取得価額	137,081		137,081	
	建物減価償却累計額	46,608		54,832	
	建物残存価額	90,473		82,249	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	管理運営委託 20,252千円	光熱水費 1,107千円(電気料 1,079千円)
令和5年度	管理運営委託 21,496千円	光熱水費 1,266千円(電気料 1,236千円)

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和51年〕	10年間	築65年まで 〔令和51年〕
試算	計画改修費	0.8億円	1.8億円	0.8億円	2.5億円
	物件費等の積算額	2.1億円	10.3億円	2.2億円	10.3億円
	合計	2.9億円	12.1億円	3.0億円	12.8億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 10年間 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		3,994	1,863	1,975	2,903	2,911

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年3月31日から同年6月1日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	1,863	47,593	2,911	99,024
m ² あたり総コスト(千円)	56.56	87.96	55.11	81.24
1人あたり総コスト(千円)	14.48	8.95	9.03	3.83
m ² あたり物件費等(千円)	44.78	57.11	47.86	60.81
1人あたり物件費等(千円)	11.46	5.70	7.84	3.06
対前年増減率光熱水費(%)	3.36	-	-7.18	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【利用状況】 利用者が前年度の5割に減少。</p> <p>【施設間比較】 1人あたりの総コスト及び物件費等が同施設分類(美術館等)の中で最も高い。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は1,470千円増加。</p> <p>【施設間比較】 1人あたりの総コスト、物件費等ともに同施設分類(美術館等)の中で最も高い。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。</p> <p>【施設間比較】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により入館者数が減少し、比較すると1人あたりの総コスト及び物件費等が割高となっていると考えられる。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、管理運営委託費や光熱水費の高騰により物件費等が増加したと考えられる。</p> <p>【施設間比較】 同施設分類の中では利用者が少ないため、比較すると1人あたりの総コスト及び物件費等が割高となっていると考えられる。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、SNSなどのデジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進する。また、講座室を活用し、誰もが気軽に参加できる講座やワークショップを開催し、利用者の増加を図る。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 ・講座室を活用し、展示作品と関連したワークショップの実施など、誰もが気軽に参加できるプログラムを展開する。また、SNSの活用に注力し、展覧会やイベントの開催について積極的に情報発信するとともに、見どころなどを紹介する動画コンテンツを制作・配信するなど、利用者の増加を図る。

清川泰次記念ギャラリー

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和36年(63年)	238.57㎡	599.88㎡	238.57㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
成城2-22-17	RC造	(地上/地下) 2/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を享受するとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	40	80	第一種高度地区	指定なし	3h-2h 1.5m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	24,285	181,970	23,141	179,909
	物件費等	19,595	139,187	21,668	146,037
	物件費	19,540	81,580	21,668	89,680
	うち光熱水費	578	8,362	1,151	12,042
	うち委託料	18,960	70,821	20,514	74,634
	うち土地建物設備賃借料	0	169	0	98
	維持補修費	0	277	0	96
	扶助費・補助費等	55	57,330	0	56,261
	減価償却費	649	21,790	649	21,738
	その他	0	0	0	0
	(配賦)人件費	1,945	13,444	824	12,134
(配賦)間接コスト	2,096	7,549	-	-	
投資的経費	11,847	8,227	1,122	6,772	
収入	総収入	355	2,683	1,691	2,767
	使用料・手数料	337	1,383	1,348	1,442
	その他	18	1,300	343	1,325
建物情報	建物取得価額	35,975		35,975	
	建物減価償却累計額	22,341		24,289	
	建物残存価額	13,634		11,686	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	管理運営委託 18,960千円	光熱水費 578千円(電気料 552千円)
令和5年度	管理運営委託 20,514千円	光熱水費 1,151千円(電気料 1,127千円)

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和8年〕	10年間	築65年まで 〔令和8年〕
試算	計画改修費	—	0.2億円	—	0.0億円
	物件費等の積算額	—	1.1億円	—	0.7億円
	合計	—	1.3億円	—	0.7億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		6,875	1,903	5,028	5,059	7,111

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年3月31日から同年6月1日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	1,903	47,593	7,111	99,024
m ² あたり総コスト(千円)	101.79	87.96	97.00	81.24
1人あたり総コスト(千円)	12.76	8.95	3.25	3.83
m ² あたり物件費等(千円)	82.14	57.11	90.82	60.81
1人あたり物件費等(千円)	10.30	5.70	3.05	3.06
対前年増減率光熱水費(%)	-6.47	-	-12.54	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	【利用状況】 利用者が前年度の3割に減少。
令和5年度 決算 データ分析	【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は2,073千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和2年度と比べ、管理運営委託費や光熱水費の高騰により物件費等が増加したと考えられる。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、SNSなどのデジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進する。また、区民が身近な地域で文化・芸術活動ができるよう支援するため、引き続き、区民ギャラリーの貸出を行い、利用者の増加を図る。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 令和10年度予定のリニューアルオープンを踏まえ、施設の適正管理や計画的な修繕に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 区民が身近な地域で文化・芸術活動ができるよう支援するため、引き続き、区民ギャラリーの貸出を行う。また、SNSの活用に注力し、展覧会やイベントの開催について積極的に情報発信するとともに、見どころなどを紹介する動画コンテンツを制作・配信するなど、利用者の増加を図る。

世田谷美術館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和60年(39年)	8,577.27㎡	18,999.00㎡	8,577.27㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
砧公園1-2	RC造	(地上/地下) 3/1	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課	設置根拠	世田谷区立世田谷美術館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が美術文化を享受するとともに、自ら学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	美術館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	674,422	181,970	683,051	179,909
	物件費等	565,809	139,187	579,104	146,037
	物件費	330,039	81,580	351,631	89,680
	うち光熱水費	40,451	8,362	55,673	12,042
	うち委託料	289,567	70,821	295,959	74,634
	うち土地建物設備賃借料	0	169	0	98
	維持補修費	0	277	0	96
	扶助費・補助費等	235,770	57,330	227,473	56,261
	減価償却費	99,374	21,790	99,009	21,738
	その他	0	0	0	0
	(配賦)人件費	4,662	13,444	4,938	12,134
(配賦)間接コスト	4,577	7,549	-	-	
投資的経費	13,928	8,227	25,102	6,772	
収入	総収入	12,702	2,683	14,578	2,767
	使用料・手数料	8,255	1,383	7,299	1,442
	その他	4,447	1,300	7,279	1,325
建物情報	建物取得価額	4,961,816		4,961,816	
	建物減価償却累計額	3,450,306		3,747,945	
	建物残存価額	1,511,510		1,213,871	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	管理運営委託 285,035千円 29,214千円)	ESCO事業委託【債務負担】 2,750千円	光熱水費 40,451千円(電気料
令和5年度	管理運営委託 295,312千円	光熱水費 55,673千円(電気料 40,137千円)	

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和32年〕	10年間	築65年まで 〔令和32年〕
試算	計画改修費	9.3億円	24.6億円	14.4億円	24.1億円
	物件費等の積算額	56.8億円	170.5億円	58.0億円	156.5億円
	合計	66.1億円	195.1億円	72.4億円	180.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
 10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		244,956	144,489	265,653	340,458	273,024

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年3月31日から同年6月1日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	144,489	47,593	273,024	99,024
m ² あたり総コスト(千円)	78.63	87.96	79.64	81.24
1人あたり総コスト(千円)	4.67	8.95	2.50	3.83
m ² あたり物件費等(千円)	65.97	57.11	67.52	60.81
1人あたり物件費等(千円)	3.92	5.70	2.12	3.06
対前年増減率光熱水費(%)	-5.64	-	-25.50	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	【行政コスト】 総コストは7,905千円減少。また、物件費等も前年度の5,149千円減少。 【利用状況】 利用者が前年度の6割に減少。
令和5年度 決算 データ分析	【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は13,295千円増加。 【利用状況】 利用者が前年度の約8割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、施設運営に係る経費が減少したと考えられる。 【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業を休止したことにより、利用者が減少した。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和2年度と比べ、管理運営委託費や光熱水費の高騰により物件費等が増加したと考えられる。 【利用状況】 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し利用者は増えてきているが、子ども向けの展覧会を複数実施した令和4年度と比較すると、利用者数は減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、撮影可能な展覧会や撮影スポットの設置など、SNSを活用した受け手側からも広がる区民参加型の情報発信の仕組みを構築するなど、デジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進することで、利用者の増加を図る。 ・多彩で魅力的な企画展や収蔵品を活用した安価で楽しめる収蔵品展、教育普及事業など幅広い層に応じたプログラムを展開し、誰もが文化・芸術を身近に鑑賞・体験できる機会の充実を図る。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 ・引き続き多彩で魅力的な企画展・収蔵品展の開催や、教育普及事業など、幅広い世代に世田谷美術館への関心を高めてもらえるような事業を展開する。また、SNSの活用に注力し、展覧会やイベントの開催について積極的に情報発信するとともに、見どころなどを紹介する動画コンテンツを制作・配信するなど、利用者の増加を図る。

世田谷文学館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成5年(31年)	4,593.92㎡	2,387.04㎡	4,593.92㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
南烏山1-10-10	S造	(地上/地下) 3/1	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課	設置根拠	世田谷区立世田谷文学館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民が文学に関する知識を深めるとともに、自らが学び、創造し、交流することにより教育・文化の振興と豊かな地域社会の形成に寄与する目的で設置している		
小区分	文学館				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
第二種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	千歳通り北部沿道地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	353,791	181,970	363,087	179,909
	物件費等	303,230	139,187	321,179	146,037
	物件費	143,222	81,580	159,976	89,680
	うち光熱水費	10,539	8,362	15,857	12,042
	うち委託料	132,659	70,821	144,119	74,634
	うち土地建物設備賃借料	0	169	0	98
	維持補修費	0	277	0	96
	扶助費・補助費等	160,008	57,330	161,203	56,261
	減価償却費	38,749	21,790	38,749	21,738
	その他	0	0	0	0
	(配賦)人件費	5,416	13,444	3,159	12,134
(配賦)間接コスト	6,396	7,549	-	-	
投資的経費	4,437	8,227	9,009	6,772	
収入	総収入	1,073	2,683	1,463	2,767
	使用料・手数料	381	1,383	523	1,442
	その他	692	1,300	940	1,325
建物情報	建物取得価額	1,937,448		1,937,448	
	建物減価償却累計額	697,481		813,728	
	建物残存価額	1,239,967		1,123,720	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	管理運営委託 132,320千円	光熱水費 10,539千円(電気料 8,688千円)
令和5年度	管理運営委託 139,325千円	光熱水費 15,857千円(電気料 13,794千円)

◆ 将来想定経費

試算		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和40年〕	10年間	築65年まで 〔令和40年〕
	計画改修費	0.0億円	13.6億円	5.9億円	15.3億円
	物件費等の積算額	30.9億円	117.4億円	32.2億円	112.6億円
	合計	30.9億円	131.0億円	38.1億円	127.9億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		252,502	165,620	270,977	375,167	343,871

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年3月31日から同年6月1日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	165,620	47,593	343,871	99,024
m ² あたり総コスト(千円)	77.01	87.96	79.04	81.24
1人あたり総コスト(千円)	2.14	8.95	1.06	3.83
m ² あたり物件費等(千円)	66.01	57.11	69.91	60.81
1人あたり物件費等(千円)	1.83	5.70	0.93	3.06
対前年増減率光熱水費(%)	-13.58	-	-23.21	0.50

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	【行政コスト】 総コストは16,223千円減少。また、物件費等も前年度の11,496千円減少。 【利用状況】 利用者数が前年度の7割に減少。
令和5年度 決算 データ分析	【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は17,949千円増加。 【利用状況】 利用者数が前年度の約9割に減少。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や事業の休止を行ったことにより、施設運営に係る経費が減少したと考えられる。 【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより、利用者が減少した。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和2年度と比べ、管理運営委託費や光熱水費の高騰により物件費等が増加したと考えられる。 【利用状況】 展示会等の実施回数は変わらないが、前年度実施の展覧会が想定を超えた多くの来場者があったことから、結果として令和5年度の利用者数が減少となった。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術の急速な発展・普及を踏まえ、撮影可能な展覧会や撮影スポットの設置など、SNSを活用した受け手側からも広がる区民参加型の情報発信の仕組みを構築するなど、デジタル技術を活用した情報発信の充実とともに、引き続き、紙媒体も活用し、多様な手法を用いた情報発信を推進することで、利用者の増加を図る。 ・多彩で魅力的な企画展や収蔵品を活用した安価で楽しめる収蔵品展、学校や地域と連携し出張展示・出張ワークショップ(どこでも文学館)など、幅広い層に応じたプログラムを展開し、誰もが文化・芸術を身近に鑑賞・体験できる機会の充実を図る。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に対する計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費について精査を行い、経費節減に取り組む。 ・引き続き多彩で魅力的な企画展や収蔵品を活用した安価で楽しめるコレクション展、学校や地域と連携して開催する出張展示・出張ワークショップ(どこでも文学館)など、幅広い層に向けたプログラムを展開し、誰もが文化・芸術を身近に鑑賞・体験できる機会の充実を図る。またSNSを活用し、展覧会やイベントの開催について積極的に情報発信するとともに、撮影可能な展覧会や撮影スポットの設置など、来場者側からの情報発信につながる取り組みを実施する。

郷土資料館

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和39年(60年)	2,140.95㎡	4,022.00㎡	2,140.95㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
世田谷1-29-18	RC造	(地上/地下) 2/1	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部生涯学習課	設置根拠	世田谷区立郷土資料館条例
中区分	美術館等	設置目的	主として区内の資料(出土品、古文書、図表、模型、民俗資料等をいう。以下同じ。)を収集し、又は寄贈若しくは寄託を受けて、これを保存及び展示して、区民の教養の向上及び教育、学術研究等に資することを目的として設置している		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
近隣商業地域	80	300	28m第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	117,211	181,970	98,230	179,909
	物件費等	30,156	139,187	42,009	146,037
	物件費	23,003	81,580	36,290	89,680
	うち光熱水費	3,086	8,362	6,288	12,042
	うち委託料	10,842	70,821	16,021	74,634
	うち土地建物設備賃借料	94	169	102	98
	維持補修費	1,674	277	637	96
	扶助費・補助費等	5,479	57,330	5,082	56,261
	減価償却費	5,441	21,790	5,441	21,738
	その他	0	0	0	0
	(配賦)人件費	55,200	13,444	50,780	12,134
	(配賦)間接コスト	26,414	7,549	-	-
投資的経費	27,377	8,227	0	6,772	
収入	総収入	3,942	2,683	714	2,767
	使用料・手数料	1	1,383	0	1,442
	その他	3,941	1,300	714	1,325
建物情報	建物取得価額	706,407		706,407	
	建物減価償却累計額	626,925		641,828	
	建物残存価額	79,482		64,579	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	「東京都野毛大塚古墳出土品」保存再処理等委託 4,565千円 旧新町村石田家文書裏打表装委託 2,188千円 空調機等設備管理及び保守委託 1,056千円 光熱水費 3,087千円(電気料 2,609千円)
令和5年度	長寿命化検討支援業務委託 6,600千円 光熱水費 6,288千円(電気料 5,801千円) 35ミリフィルムの電子化業務委託 2,090千円

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和11年〕	10年間	築65年まで 〔令和11年〕
試算	計画改修費	—	4.4億円	—	0.0億円
	物件費等の積算額	—	3.1億円	—	2.2億円
	合計	—	7.5億円	—	2.2億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 10年間 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		37,365	8,780	15,269	0	48,791

※令和4年度はリニューアル工事より休館

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年4月1日から同年5月31日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	8,780	47,593	48,791	99,024
m ² あたり総コスト(千円)	54.75	87.96	45.88	81.24
1人あたり総コスト(千円)	13.35	8.95	2.01	3.83
m ² あたり物件費等(千円)	14.09	57.11	19.62	60.81
1人あたり物件費等(千円)	3.43	5.70	0.86	3.06
対前年増減率光熱水費(%)	-14.96	-	69.99	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 総コストは5,302千円増加。一方で、物件費等は前年度の約8割に減少。</p> <p>【利用状況】 利用者が前年度の2割に減少。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は11,853千円増加。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、特別展等の事業の中止や休館により、物件費等は減少した。一方、会計年度任用職員制度への移行に伴い、配賦人件費が増加したため総コストは増加した。</p> <p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、休館及び地域行事や区内小学校の団体見学の中止により、来館者が減少した。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和5年度は長寿命化検討支援業務委託と35ミリフィルムの電子化業務委託の実施、郷土資料館再開館に伴う電気使用量の増加と電気料金の高騰により物件費等が増加した。また、令和4年度に大規模改修工事を実施したため、5年度の維持補修費は減少した。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 区の歴史・文化を次世代へ継承していくため、調査研究の推進や展示・講座等を通じた教育普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子ども、若者世代への積極的な働きかけを行い、来館者の増加に努めていく。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度に長寿命化調査を実施、7年度に基礎調査結果や当館が抱える施設の問題点を踏まえた建て替え対応または長寿命化対応の判断をしていく。 施設の適切な維持管理に努めるとともに、かかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 区の歴史・文化を次世代へ継承していくため、調査研究の推進や展示・講座等を通じた教育普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子ども、若者世代への積極的な働きかけを行い、来館者の増加に努めていく。

平和資料館(せたがや未来の平和館)

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和60年(39年) 平和資料館棟はH27竣工	370.5㎡	78,134.66㎡	2,095.57㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
池尻1-5-27	S造	(地上/地下) 1/0	世田谷公園水泳場、世田谷公園スポーツ施設			





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部人権・男女共同参画課	設置根拠	世田谷区立平和資料館条例
中区分	美術館等	設置目的	区民の平和に対する理解を深めるとともに、戦争の悲惨さ及び平和の尊さを知ることを通じて、区民相互及び地域の交流を促進し、恒久平和の実現に向けた意識を醸成することを目的で設置している		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	51,197	181,970	42,189	179,909
	物件費等	11,128	139,187	12,652	146,037
	物件費	10,862	81,580	12,620	89,680
	うち光熱水費	2,179	8,362	3,194	12,042
	うち委託料	1,886	70,821	2,796	74,634
	うち土地建物設備賃借料	256	169	169	98
	維持補修費	266	277	32	96
	扶助費・補助費等	0	57,330	0	56,261
	減価償却費	5,574	21,790	5,574	21,738
	その他	0	0	0	0
	(配賦)人件費	24,056	13,444	23,963	12,134
	(配賦)間接コスト	10,439	7,549	-	-
	投資的経費	0	8,227	0	6,772
収入	総収入	0	2,683	0	2,767
	使用料・手数料	0	1,383	0	1,442
	その他	0	1,300	0	1,325
建物情報	建物取得価額	124,874		124,874	
	建物減価償却累計額	16,858		26,973	
	建物残存価額	108,016		97,901	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	光熱水費 2,179千円(水道料 1,314千円) 維持管理委託 821千円 中学校巡回展会場設営撤去委託 550千円 土地建物設備賃借料 256千円 機械警備業務委託 172千円
令和5年度	光熱水費 3,194千円(水道料 1,657千円 電気料 1,199千円) 維持管理委託 1,140千円 巡回展会場設営撤去委託 904千円 機械警備業務委託 172千円

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和62年〕	10年間	築65年まで 〔令和62年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.4億円	0.4億円	2.1億円
	物件費等の積算額	1.0億円	6.2億円	1.2億円	7.0億円
	合計	1.0億円	7.6億円	1.6億円	9.1億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		8,035	7,405	7,901	9,574	13,414

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)
令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	7,405	47,593	13,414	99,024
m ² あたり総コスト(千円)	138.18	87.96	113.87	81.24
1人あたり総コスト(千円)	6.91	8.95	3.15	3.83
m ² あたり物件費等(千円)	30.04	57.11	34.15	60.81
1人あたり物件費等(千円)	1.50	5.70	0.94	3.06
対前年増減率光熱水費(%)	1.35	-	2.97	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 総コストは3,333千円増加。</p> <p>【施設間比較】 ㎡あたりの総コストが同施設分類(美術館等)の中で最も高い。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は1,524千円増加。</p> <p>【施設間比較】 ㎡あたりの総コストが同施設分類(美術館等)の中で最も高い。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、日々清掃業務の回数増加及び消毒作業追加により、物件費が増加した。また、経年劣化による故障のため、維持補修費(屋上緑化スプリンクラー、空調機)が増加した。</p> <p>【施設間比較】 施設運営が直営であるため、人件費が割高となっている。同施設分類の中では専有面積も小さいため、比較すると㎡あたりの総コストが割高になっていると考えられる。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和5年度は、清掃委託費や企画展にかかわる物品費の高騰さらに経年劣化による機械類故障のため物件費等が増加した。</p> <p>【施設間比較】 区の平和施策としての直営施設であるため、人件費が割高となっている。同施設分類の中では専有面積も小さいため、比較すると㎡あたりの総コストが割高になっていると考えられる。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 戦争の悲惨さや平和の尊さを知ることを通じて、区民、地域の交流を促進し、恒久平和の実現に向けた意識を醸成するため、資料の収集・保存、展示の充実に努める。 施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 戦争の悲惨さや平和の尊さを知ることを通じて、区民、地域の交流を促進し、恒久平和の実現に向けた意識を醸成するため、資料の収集・保存、展示の充実に努める。さらに未来の平和館として若者に平和のメッセージを伝える情報発信施設となるよう努める。 施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。ただし少ない人数で運営しているにもかかわらず令和2年度と令和5年度との来館者数を比べると約倍の人数となっており、経費の精細を行いながら成果はでており、引き続き取り組みを進める。

宇奈根考古資料室

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(36年)	463.73㎡	1,038.60㎡	463.73㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
宇奈根1-8-21	S造	(地上/地下) 2/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部生涯学習課	設置根拠	世田谷区教育委員会事務局組織規則
中区分	美術館等	設置目的	埋蔵文化財保護・普及(埋蔵文化財調査に伴う遺物の整理作業、収蔵、展示等)		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	世田谷西部地域宇奈根地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	14,387	-	8,365	-
	物件費等	4,528	-	3,242	-
	物件費	4,486	-	3,154	-
	うち光熱水費	833	-	890	-
	うち委託料	962	-	532	-
	うち土地建物設備賃借料	259	-	124	-
	維持補修費	42	-	88	-
	扶助費・補助費等	0	-	0	-
	減価償却費	961	-	961	-
	その他	0	-	0	-
	(配賦)人件費	7,116	-	4,162	-
(配賦)間接コスト	1,782	-	-	-	
投資的経費	0	-	0	-	
収入	総収入	0	-	0	-
	使用料・手数料	0	-	0	-
	その他	0	-	0	-
建物情報	建物取得価額	64,649	-	64,649	-
	建物減価償却累計額	64,649	-	64,649	-
	建物残存価額	0	-	0	-

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

※経年比較のため、費用及び収入について宇奈根考古資料室及び同分室の合算値としている。

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではなく、他の施設と利用形態が異なるため施設間平均から除く。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	光熱水費 540千円(電気料 497千円)	警備業務委託 317千円	産業廃棄物等処理委託 269千円
令和5年度	光熱水費 631千円(電気料 585千円)	警備業務委託 317千円	

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和35年〕	10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.2億円	0.7億円	1.5億円
	物件費等の積算額	0.3億円	0.9億円	0.3億円	0.8億円
	合計	0.3億円	2.1億円	1.0億円	2.3億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		-	-	-	-	-

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではない。

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	-	-	-	-
m ² あたり総コスト(千円)	21.70	-	12.61	-
1人あたり総コスト(千円)	-	-	-	-
m ² あたり物件費等(千円)	6.83	-	4.89	-
1人あたり物件費等(千円)	-	-	-	-
対前年増減率光熱水費(%)	-21.71	-	-5.42	-

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではなく、他の施設と利用形態が異なるため施設間平均から除く。

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	【行政コスト】 総コストは前年度の約1.3倍に増加。また、物件費等も約1.3倍に増加。
令和5年度 決算 データ分析	【行政コスト】 令和2年度と比べ、総コスト、物件費等ともに減少し、改善されている。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 事務分担の見直しにより、当該施設分の配賦人件費が増加した。また、隣家に配慮し樹木剪定等の回数を増やしたため物件費が増加した。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 事務分担の見直しにより、当該施設分の配賦人件費が減少した。また、契約内容の変更等により物件費が減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	発掘調査の委託化等に伴う文化財係職員の非常駐化により、今後はコスト減少が見込まれる。また、施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費削減に取り組む。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	当該施設に保管されている発掘調査等による出土品は、将来にわたり文化財として保存を要するものであるため、施設の適正管理が継続的に必要であるが、施設保全の中長期計画を踏まえ、維持管理にかかる経費を精査し、経費節減に取り組む。

宇奈根考古資料室分室

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成10年(26年)	199.46㎡		722.29㎡	199.46㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称				
宇奈根1-9-3	S造	(地上/地下) 1/0	-				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部生涯学習課	設置根拠	世田谷区教育委員会事務局組織規則
中区分	美術館等	設置目的	埋蔵文化財保護・普及(埋蔵文化財調査に伴う遺物の整理作業、収蔵、展示等)		
小区分	資料館等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	世田谷西部地域宇奈根地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
費用	総コスト(投資的経費除く)	14,387	-	8,365	-
	物件費等	4,528	-	3,242	-
	物件費	4,486	-	3,154	-
	うち光熱水費	833	-	890	-
	うち委託料	962	-	532	-
	うち土地建物設備賃借料	259	-	124	-
	維持補修費	42	-	88	-
	扶助費・補助費等	0	-	0	-
	減価償却費	961	-	961	-
	その他	0	-	0	-
	(配賦)人件費	7,116	-	4,162	-
	(配賦)間接コスト	1,782	-	-	-
	投資的経費	0	-	0	-
収入	総収入	0	-	0	-
	使用料・手数料	0	-	0	-
	その他	0	-	0	-
建物情報	建物取得価額	28,260	/	28,260	/
	建物減価償却累計額	22,099		24,982	
	建物残存価額	6,161		3,278	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

※経年比較のため、費用及び収入について宇奈根考古資料室及び同分室の合算値としている。

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではなく、他の施設と利用形態が異なるため施設間平均から除く。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	光熱水費 293千円(電気料 220千円) 警備業務委託 185千円 産業廃棄物等処理委託 115千円
令和5年度	光熱水費 259千円(電気料 185千円) 警備業務委託 185千円

◆ 将来想定経費

試算		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和45年〕	10年間	築65年まで 〔令和45年〕
	計画改修費	0.0億円	0.5億円	0.2億円	0.6億円
	物件費等の積算額	0.1億円	0.5億円	0.1億円	0.4億円
	合計	0.1億円	1.0億円	0.3億円	1.0億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数(人)		-	-	-	-	-

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではない。

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (美術館等)	令和5年度	施設間平均 (美術館等)
入館者数	-	-	-	-
m ² あたり総コスト(千円)	21.70	-	12.61	-
1人あたり総コスト(千円)	-	-	-	-
m ² あたり物件費等(千円)	6.83	-	4.89	-
1人あたり物件費等(千円)	-	-	-	-
対前年増減率光熱水費(%)	-21.71	-	-5.42	-

※宇奈根考古資料室及び分室は、区民利用施設ではなく、他の施設と利用形態が異なるため施設間平均から除く。

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	宇奈根考古資料室との合算値のため、宇奈根考古資料室を参照。
令和5年度 決算 データ分析	宇奈根考古資料室との合算値のため、宇奈根考古資料室を参照。

池之上青少年交流センター

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和54年(45年)	880.15㎡	1,131.34㎡	880.15㎡	区所有	委託	公益財団法人 児童育成協会
住所	構造	階数	複合施設名称			
代沢2-37-18	RC造	(地上/地下) 2/0	-			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	子ども・若者部子ども・若者支援課	設置根拠	世田谷区立青少年交流センター条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	青少年(おおむね30歳以下の者をいう。以下同じ。)の健全な育成を図るとともに、青少年の社会的自立を総合的に支援し、活力ある地域社会を実現することを目的として設置している		
小区分	青少年施設				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	150	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
近隣商業地域	80	300	第三種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (3施設)	令和5年度	施設間平均 (3施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	98,589	94,390	92,942	103,488
	物件費等	19,661	63,079	74,493	83,974
	物件費	19,569	62,247	73,895	83,434
	うち光熱水費	2,767	2,287	2,747	3,057
	うち委託料	10,997	56,686	69,677	78,982
	うち土地建物設備賃借料	237	158	29	264
	維持補修費	92	832	598	502
	扶助費・補助費等	0	0	0	38
	減価償却費	7,242	7,549	7,242	7,503
	その他	0	0	0	75
	(配賦)人件費	50,406	23,762	11,207	11,936
	(配賦)間接コスト	21,280	11,455	-	-
	投資的経費	80,531	26,844	0	770
収入	総収入	2,992	16,701	24,778	25,110
	使用料・手数料	87	31	303	108
	その他	2,905	16,670	24,475	25,002
建物情報	建物取得価額	329,191		329,191	
	建物減価償却累計額	304,172		325,899	
	建物残存価額	25,019		3,292	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

※青少年交流センター3施設(池之上、野毛、希望丘)より施設間平均を算出している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	運営業務委託委託 5,194千円 (円)	運営準備業務委託 3,024千円	光熱水費 2,767千円(電気料 2,378千円)
令和5年度	運営業務委託委託 61,141千円 (円)	維持管理業務委託 8,431千円	光熱水費 2,747千円(電気量 2,297千円)

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和26年〕	10年間	築65年まで 〔令和26年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.2億円	0.1億円	1.3億円
	物件費等の積算額	1.5億円	3.6億円	7.3億円	15.4億円
	合計	1.5億円	4.8億円	7.4億円	16.7億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		19,160	20,686	34,040	40,569	52,670

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年4月1日から同年6月8日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (3施設)	令和5年度	施設間平均 (3施設)
利用者数	20,686	22,233	52,670	50,342
㎡あたり総コスト(千円)	112.01	108.92	105.60	106.39
1人あたり総コスト(千円)	4.77	5.36	1.76	2.52
㎡あたり物件費等(千円)	22.34	64.02	84.64	87.30
1人あたり物件費等(千円)	0.95	3.37	1.41	2.12
対前年増減率光熱水費(%)	48.68	-	-9.46	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	【行政コスト】 総コストが前年度の約1.5倍に増加。また、物件費等も約1.9倍に増加。 【利用状況】 利用者数が一昨年度の3割に減少。(昨年度からは1.1倍。)
令和5年度 決算 データ分析	【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は約3.8倍に増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 検討委員会より、専門的なユースワーカーの不在等、職員体制を見直すことが示された。そのため、令和3年度からの民営化に向けた運営準備業務を行い、委託料及び配賦人件費が増加した。 【利用状況】 平成31年度は大規模改修工事により、長期休館していた。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和3年度より民営化し、委託料が大幅に増加した一方で、配賦人件費が縮減した。また、令和5年度はエアコンの修繕により維持補修費が増加した。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。 ・引き続き、子ども・若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促しながら、世代を超えた出会いや交流の機会を創出する居場所を提供していく。また、令和3年度から民営化され、専門性を持ったユースワーカーが常駐している。多様な子ども・若者への伴奏的支援を強化していくことで利用者の増加を図る。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。 ・民営化によって、専門性をもったユースワーカーによる多様な子ども・若者への伴奏的支援が実現し利用者が大きく増加した。地域の活動団体との連携強化を図り、子ども・若者の主体的な活動をさらに後押ししていくとともに、目的がなくても立ち寄れる、居場所としての機能の充実を図ることで利用者の増加を図る。

野毛青少年交流センター

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)		敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和38年(61年)	779.26㎡		1,968.00㎡	779.26㎡	区所有	委託	公益財団法人 児童育成協会
住所	構造	階数	複合施設名称				
野毛2-15-19	RC造	(地上/地下) 2/1	-				





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	子ども・若者部子ども・若者支援課	設置根拠	世田谷区立青少年交流センター条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	青少年(おおむね30歳以下の者をいう。以下同じ。)の健全な育成を図るとともに、青少年の社会的自立を総合的に支援し、活力ある地域社会を実現することを目的として設置している		
小区分	青少年施設				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	40	80	第一種高度地区	指定なし	3h-2h 1.5m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (3施設)	令和5年度	施設間平均 (3施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	87,780	94,390	87,637	103,488
	物件費等	74,724	63,079	77,524	83,974
	物件費	72,530	62,247	77,279	83,434
	うち光熱水費	1,333	2,287	2,054	3,057
	うち委託料	69,337	56,686	73,544	78,982
	うち土地建物設備賃借料	72	158	602	264
	維持補修費	2,194	832	208	502
	扶助費・補助費等	0	0	37	38
	減価償却費	262	7,549	125	7,503
	その他	0	0	0	75
	(配賦)人件費	8,216	23,762	9,988	11,936
(配賦)間接コスト	4,578	11,455	-	-	
投資的経費	0	26,844	2,310	770	
収入	総収入	16,827	16,701	19,087	25,110
	使用料・手数料	6	31	20	108
	その他	16,821	16,670	19,067	25,002
建物情報	建物取得価額	156,962		156,962	
	建物減価償却累計額	155,151		155,527	
	建物残存価額	1,811		1,435	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

※青少年交流センター3施設(池之上、野毛、希望丘)より施設間平均を算出している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	維持管理業務委託 18,688千円	運營業務委託 49,509千円	光熱水費 1,333千円(電気料 1,062千円)
令和5年度	維持管理業務委託 19,200千円	運營業務委託 52,857千円	光熱水費 2,054千円(電気料 1,796千円)

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和10年〕	10年間	築65年まで 〔令和10年〕
試算	計画改修費	—	0.1億円	—	0.0億円
	物件費等の積算額	—	5.5億円	—	3.9億円
	合計	—	5.6億円	—	3.9億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 10年間 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		21,660	11,670	17,886	20,665	21,322

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年4月1日から同年6月8日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
利用者数	11,712	22,233	21,322	50,342
m ² あたり総コスト(千円)	112.65	108.92	112.46	106.39
1人あたり総コスト(千円)	7.49	5.36	4.11	2.52
m ² あたり物件費等(千円)	95.89	64.02	99.48	87.30
1人あたり物件費等(千円)	6.38	3.37	3.64	2.12
対前年増減率光熱水費(%)	-11.19	-	-22.40	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 物件費等が前年度の約1.2倍に増加。</p> <p>【利用状況】 利用者数が前年度の5割に減少。</p> <p>【施設間比較】 ㎡あたり、1人あたりの総コストが同施設分類(青少年交流センター3施設)の中で最も高い。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【施設間比較】 ㎡あたり、1人あたりの総コスト及び物件費等が同施設分類(青少年交流センター3施設)の中で最も高い。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 前年度の活動を見直した結果、維持・運営業務委託に係る委託料が増加した。また、トイレ・エアコン等が劣化・破損したため、臨時修繕を行ったことにより維持補修費も増加した。</p> <p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。</p> <p>【施設間比較】 他の青少年交流センターと同様に施設の運営に係る経費が主要部分となっているが、同施設分類の中で専有面積が最小であるため、比較すると㎡あたりの総コストが割高になっていると考えられる。また、最寄り駅(東急大井町線「等々力駅」または「上野毛駅」)から徒歩15分程度かかる位置に立地しているため、周辺施設へPRを行っているものの、池之上、希望丘と比べて来館者数が少ないため、1人あたりの総コストも割高になっていると考えられる。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【施設間比較】 コロナ禍による規制がなくなり、利用者数は令和元年度と同程度まで回復したものの、同施設分類の中で専有面積が最小であること、利用者数が依然として同施設分類と比べて大きく下回ることから、㎡あたり、1人あたりの総コスト及び物件費等が割高になっていると考えられる。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。 ・引き続き、子ども・若者が輝く地域づくりに向けて、子ども・若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促しながら、世代を超えた出会いや交流の機会を創出する居場所を提供していく。 ・周辺施設や近隣住民へのPR活動をさらに強化することで、利用者の増加を図る。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。 ・周辺に学校が少ないことで利用者が集まりにくい一方、同施設分類と比較して大学生世代の利用割合が高いこと、宿泊機能を有していることが当施設の特徴である。こうした特徴を最大限活用し、周辺施設や近隣住民へより効果的な広報、より魅力的なプログラムを実施していくことで利用者の増加を図る。

希望丘青少年交流センター「アップス」

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和57年(42年)	1,284.63㎡	6,342.98㎡	7,051.23㎡	区所有	委託	公益財団法人 児童育成協会
住所	構造	階数	複合施設名称			
船橋6-25-1	RC造	(地上/地下) 4/0	希望丘保育園、ほっとスクール「希望丘」、希望丘地域体育館、 希望丘区民集会所			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	子ども・若者部子ども・若者支援課	設置根拠	世田谷区立青少年交流センター条例
中区分	その他の文化・ 学習施設	設置目的	青少年(おおむね30歳以下の者をいう。以下同じ。)の健全な育成を図るとともに、青少年の社会的自立を総合的に支援し、活力ある地域社会を実現することを目的として設置している		
小区分	青少年施設				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	31m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
第一種住居地域	60	200	31m第二種高度地区	準防火地域	5h-3h 4m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (3施設)	令和5年度	施設間平均 (3施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	131,166	94,390	129,886	103,488
	物件費等	94,852	63,079	99,905	83,974
	物件費	94,641	62,247	99,128	83,434
	うち光熱水費	2,761	2,287	4,370	3,057
	うち委託料	89,723	56,686	93,724	78,982
	うち土地建物設備賃借料	165	158	162	264
	維持補修費	211	832	701	502
	扶助費・補助費等	0	0	76	38
	減価償却費	15,143	7,549	15,143	7,503
	その他	0	0	224	75
	(配賦)人件費	12,665	23,762	14,614	11,936
	(配賦)間接コスト	8,506	11,455	-	-
投資的経費	0	26,844	0	770	
収入	総収入	30,284	16,701	31,645	25,110
	使用料・手数料	0	31	0	108
	その他	30,284	16,670	31,645	25,002
建物情報	建物取得価額	2,701,990		2,701,990	
	建物減価償却累計額	434,832		648,155	
	建物残存価額	2,267,158		2,053,835	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

※青少年交流センター3施設(池之上、野毛、希望丘)より施設間平均を算出している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	運営業務委託 69,978千円	維持管理業務委託 19,631千円	光熱水費 2,761千円(電気料 1,673千円)
令和5年度	運営業務委託 73,359千円	維持管理業務委託 19,908千円	光熱水費 4,370千円(電気料 3,110千円)

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和29年〕	10年間	築65年まで 〔令和29年〕
試算	計画改修費	0.0億円	5.0億円	0.0億円	1.9億円
	物件費等の積算額	9.3億円	25.2億円	9.9億円	23.7億円
	合計	9.3億円	30.2億円	9.9億円	25.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 10年間 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		75,843	34,302	46,986	58,348	77,034

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年4月1日から同年6月8日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (3施設)	令和5年度	施設間平均 (3施設)
利用者数	34,302	22,233	77,034	50,342
㎡あたり総コスト(千円)	102.10	108.92	101.11	106.39
1人あたり総コスト(千円)	3.82	5.36	1.69	2.52
㎡あたり物件費等(千円)	73.84	64.02	77.77	87.30
1人あたり物件費等(千円)	2.77	3.37	1.30	2.12
対前年増減率光熱水費(%)	-21.16	-	-17.87	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	【行政コスト】 総コストは7,314千円減少。一方で、物件費等は3,010千円増加。 【利用状況】 利用者数が前年度の5割に減少。
令和5年度 決算 データ分析	【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は5,053千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 開設初年度(令和元年)を終えて大学連携事業や福祉的就労事業等を見直した結果、維持・運営業務委託に係る委託料が増加した。一方、開設2年目となり運営が落ち着いたことから、事務分担見直しにより配賦人件費が大幅に縮減されたため、総コストは減少した。 【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 電気代の高騰により、光熱水費が増加した。また、開設間もない令和2年度には修繕箇所はほとんどなく単価も小さかったが、令和5年度にはホール壁面の修繕、コンセントの破損やカフェキッチン物品の故障など修繕の件数・単価が増加し、維持補修費が3倍以上となった。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。 ・引き続き、子ども・若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促しながら、世代を超えた出会いや交流の機会を創出する居場所を提供していく。また、アウトリーチ事業を開始し、地域に潜在している利用者の掘り起こしを行い、利用者の増加を図る。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・設備機器等の更新について、計画的な修繕・更新を行うことで適切な維持管理に努め、経費の平準化を図る。 ・引き続き、子ども・若者自らの主体的な活動を通して自立と成長を促しながら、世代を超えた出会いや交流の機会を創出する居場所を提供していく。また、家庭・学校とは異なる子ども・若者にとっての第3の居場所としての機能をさらに強化し、子ども・若者のもつ多様なニーズに応えていくことで利用者の増加を図る。

市民大学・生涯大学

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成25年(11年)	56.58㎡	2,258.88㎡	4,776.51㎡	区所有	直営	-
住所	構造	階数	複合施設名称			
池尻2-3-11	RC造	(地上/地下) 4/0	健康増進・交流施設(せたがやがやがや館)、池尻地区会館、池尻児童館、池尻保育園			





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部市民活動推進課	設置根拠	・世田谷市民大学設置要綱 ・世田谷区生涯大学実施運営要綱
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	【市民大学】区民が真に市民として自立する自己形成に資する学習機会を提供するため 【生涯大学】高齢者が急激な社会構造の変化に順応することができる能力を身につけ、自らの文化・知識を豊かにして生きがいのある生活を営み、地域の発展と連帯に主体的に取り組むことを目指して自己啓発をする場を提供するため		
小区分	学習施設等				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	76,369	-	70,104	-
	物件費等	21,378	-	29,046	-
	物件費	21,373	-	29,046	-
	うち光熱水費	169	-	250	-
	うち委託料	1,225	-	908	-
	うち土地建物設備賃借料	66	-	138	-
	維持補修費	5	-	0	-
	扶助費・補助費等	0	-	0	-
	減価償却費	355	-	355	-
	その他	106	-	33	-
	(配賦)人件費	39,183	-	40,670	-
	(配賦)間接コスト	15,347	-	-	-
投資的経費	0	-	0	-	
収入	総収入	9,559	-	15,542	-
	使用料・手数料	0	-	0	-
	その他	9,559	-	15,542	-
建物情報	建物取得価額	1,776,863	-	1,776,863	-
	建物減価償却累計額	284,298	-	390,910	-
	建物残存価額	1,492,565	-	1,385,953	-

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

※本施設は、面積規模がその他施設の中で最も小さく、かつ建物全体面積に対する割合も1.2%と小さい複合施設より施設間平均から除く。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	専用ホームページに関するペネトレーションテスト(対攻撃性・脆弱性)テスト実施委託 495千円 管理運営に関する年度協定書 329千円 運営補助委託 246千円
令和5年度	運営補助委託 602千円 管理運営に関する年度協定書 253千円 光熱水費 250千円(電気料 135千円)

◆ 将来想定経費

試算		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和60年〕	10年間	築65年まで 〔令和60年〕
	計画改修費	0.1億円	0.2億円	0.1億円	0.4億円
	物件費等の積算額	2.6億円	15.1億円	2.8億円	15.6億円
	合計	2.7億円	15.3億円	2.9億円	16.0億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		2,062	401	875	998	1,439

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年4月1日から同年6月14日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
利用者数	401	—	1,439	—
m ² あたり総コスト(千円)	1349.77	—	1239.02	—
1人あたり総コスト(千円)	190.45	—	48.72	—
m ² あたり物件費等(千円)	377.85	—	513.36	—
1人あたり物件費等(千円)	53.31	—	20.18	—
対前年増減率光熱水費(%)	-15.50	—	-26.04	—

※本施設は、面積規模がその他施設の中で最も小さく、かつ建物全体面積に対する割合も1.2%と小さい複合施設より施設間平均から除く。

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	【行政コスト】 総コストは前年度と同等。一方で、物件費等は前年度の約7割に減少。 【利用状況】 利用者が前年度の2割に減少。
令和5年度 決算 データ分析	【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は7,668千円増加。

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、一時休校により講師への報償費などの施設運営に係る経費が減少した。一方で事務局職員の雇用形態が変更されたため、配賦人件費が増加し総コストは前年度と同等となっている。 【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、市民大学のサマーフォーラムの中止や生涯大学の公開文化講演会の縮小を行い、利用者が減少した。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	【行政コスト】 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され、コロナ前と同等数の講義を行ったことなどで、講師への報償費などの施設運営に係る物件費等が増加した。一方で評価手法の見直しにより、令和4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止したため、総コストは令和2年度より減少しており、また利用者の増加により、1人あたりの総コスト・物件費等ともに大幅に減少した。

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組んでいく。加えて、社会情勢を踏まえ、生涯学習を通じた仲間づくり・生きがいづくり推進できるよう、区民と一体となって補完し合えるネットワークを形成し、地域に開かれた施設を目指し、機能を戻しながらコロナ禍前の適正規模での運営を引き続き検討していく。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 市民大学は、会場の座席配置の見直しによる講座定員数の増加や募集案内のデザインの外注による広報の強化など、取組みを重ね、利用者のさらなる増加を目指す。 生涯大学は、令和6年度学生募集より、「入学年齢の引き下げ」「再入学に係る経過年数の短縮」「再入学可能なコース要件の緩和」等入学要件の見直しを行い、入学者の増加を図る。 施設の維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組んでいく。

男女共同参画センター“らぶらす”

◆ 施設概要 (令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(36年)	872.67㎡	562.34㎡	872.67㎡	民間所有	委託	共生会SHOWA (らぶらす)
住所	構造	階数	複合施設名称			
太子堂1-12-40	SRC造	(地上/地下) 8/1	-			



◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部人権・男女共同参画課	設置根拠	世田谷区立男女共同参画センター条例
中区分	その他の文化・学習施設			設置目的	男女共同参画社会の実現を目指し、区民の自主的かつ実践的な活動の場と機会を提供するため設置している
小区分	男女共同参画センター				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
商業地域	80	500	指定なし	防火地域	指定なし
第一種住居地域	60	200	19m第二種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 4m
その他	都営下馬アパート周辺地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	146,678	275,068	155,405	286,759
	物件費等	132,990	195,731	144,216	231,572
	物件費	122,205	60,398	132,855	87,002
	うち光熱水費	0	1,014	0	1,377
	うち委託料	71,350	50,458	82,119	77,674
	うち土地建物設備賃借料	44,147	5,596	44,144	5,843
	維持補修費	249	9,914	124	22,569
	扶助費・補助費等	10,536	125,419	11,237	122,001
	減価償却費	0	42,874	514	41,881
	その他	0	1	0	28
	(配賦)人件費	8,417	20,623	10,675	13,278
(配賦)間接コスト	5,271	15,839	-	-	
投資的経費	0	13,882	0	14,959	
収入	総収入	389	11,812	1,205	10,117
	使用料・手数料	240	579	539	658
	その他	149	11,233	666	9,459
建物情報	建物取得価額	-	-	-	-
	建物減価償却累計額	-	-	-	-
	建物残存価額	-	-	-	-

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	運営委託 64,238千円	不動産賃借料 44,115千円	維持管理委託(清掃・警備) 6,237千円
令和5年度	運営委託 76,236千円	不動産賃借料 44,115千円	警備業務委託 5,345千円

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和35年〕	10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.0億円	1.1億円	0.0億円	0.0億円
	物件費等の積算額	13.3億円	44.0億円	14.1億円	42.4億円
	合計	13.3億円	45.1億円	14.1億円	42.4億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		45,615	29,153	36,855	31,249	43,794

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年3月31日から同年5月31日

令和3年4月25日から同年5月31日

上記利用休止期間以外に開館時間の短縮期間あり

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
利用者数	29,153	37,943	43,794	84,479
m ² あたり総コスト(千円)	168.08	106.00	178.08	124.79
1人あたり総コスト(千円)	5.03	5.34	3.55	2.68
m ² あたり物件費等(千円)	152.39	74.42	165.26	100.55
1人あたり物件費等(千円)	4.56	3.79	3.29	2.17
対前年増減率光熱水費(%)	-	-	-	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【利用状況】 利用者数が前年度の6割に減少。</p> <p>【施設間比較】 ㎡あたりの総コスト、物件費等ともに同施設種別(その他文化・学習施設)の中で最も高い。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は11,226千円増加。</p> <p>【施設間比較】 ㎡あたりの物件費等が同施設種別(その他文化・学習施設)の中で最も高い。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館や開館時間の短縮により利用者が減少した。</p> <p>【施設間比較】 同施設種別の中で唯一民間建物内で運営しており、不動産賃借料に係る経費負担があるため、比較すると㎡あたりの総コスト及び物件費等が割高となっていると考えられる。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 運営委託費の上昇や講座の回数・内容(講師の選定)・相談事業の拡充、また人件費の高騰などにより物件費等が増加した。</p> <p>【施設間比較】 上記運営委託費の増加に加え、当施設は民間建物内で運営しており、不動産賃借料に係る経費負担があるため、同施設分類で比較すると㎡あたりの物件費等が割高になっていると考えられる。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センターは、保健福祉センターと総合支所の一体化による影響で、民間建物へ移転した。社会情勢を踏まえ、男女共同参画推進を図るための機能拡充及び適正規模について引き続き検討していく。 区民、団体、地域の支援者などと一体となって男女共同参画を推進できるよう、情報共有し補完し合えるネットワークを形成し、地域に開かれた男女共同参画センターを目指し、引き続き取り組んでいく。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者や自習室利用者が快適に利用できるように、活動スペースをはじめとする研修室等の整備をしていく。今後の移転に伴い、現状での利用課題を検討し、施設環境の向上に努める。また、講座の選定・講義内容の設定、講師の選定等にあたって十分に考慮し、より良い講座運営に努め、地域に開かれた男女共同参画センターを目指し、引き続き取り組んでいく。 仮移転であるため、将来的(令和10年度以降を予定)には、区有施設への移転を予定しているが、賃貸借契約の更新(令和7年4月1日より)に伴い、賃料の増加があるため、更なるコスト増加が見込まれる。

世田谷文化生活情報センター

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
平成8年(28年)	12,141.00㎡	9,149.66㎡	13,241.00㎡	区所有	指定管理	公益財団法人 せたがや文化財団
住所	構造	階数	複合施設名称			
太子堂4-1-1	SRC造	(地上/地下) 27/5	キッズルームていんかあべる三茶、スカイキャロット展望ロビー			



◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	生活文化政策部文化・国際課	設置根拠	世田谷文化生活情報センター条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	区民が優れた演劇、音楽等の文化及び芸術を享受することができる機会並びに区民が自ら文化活動及び芸術活動を実践することができる場を提供するとともに、区民の地域交流活動、国際交流活動等を促進することにより、豊かな地域社会の形成に資するため設置している		
小区分	情報センター				

◆ 都市計画

用途地域	商業地域	法定建蔽率(%)	80	法定容積率(%)	600	高度地区	指定なし	準・防火地区	防火地域	日影	指定なし
その他	-										

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	1,540,231	275,068	1,626,775	286,759
	物件費等	1,115,142	195,731	1,316,081	231,572
	物件費	76,255	60,398	173,550	87,002
	うち光熱水費	123	1,014	197	1,377
	うち委託料	76,111	50,458	173,259	77,674
	うち土地建物設備賃借料	0	5,596	0	5,843
	維持補修費	46,121	9,914	177,911	22,569
	扶助費・補助費等	992,766	125,419	964,620	122,001
	減価償却費	304,481	42,874	304,481	41,881
	その他	4	1	0	28
	(配賦)人件費	47,596	20,623	6,213	13,278
	(配賦)間接コスト	73,008	15,839	-	-
	投資的経費	26,079	13,882	63,826	14,959
収入	総収入	41,472	11,812	0	10,117
	使用料・手数料	1,770	579	0	658
	その他	39,702	11,233	0	9,459
建物情報	建物取得価額	14,255,161		14,255,161	
	建物減価償却累計額	6,861,376		7,719,048	
	建物残存価額	7,393,785		6,536,113	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	公益財団法人せたがや文化財団に対する補助金 782,923千円 管理運営委託 47,844千円 施設維持管理業務委託 28,260千円	キャロットタワー管理費等負担金 165,860千円
令和5年度	公益財団法人せたがや文化財団に対する補助金 734,593千円 管理運営委託 142,380千円 施設維持管理業務委託 30,866千円	キャロットタワー管理費等負担金 165,860千円

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和43年〕	10年間	築65年まで 〔令和43年〕
試算	計画改修費	12.9億円	23.2億円	13.6億円	27.2億円
	物件費等の積算額	110.2億円	451.9億円	121.1億円	460.4億円
	合計	123.1億円	475.1億円	134.7億円	487.6億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
 物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
 10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		347,410	150,540	367,802	387,329	379,403

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)
 令和2年3月31日から同年6月15日
 令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
利用者数	150,540	37,943	379,403	84,479
㎡あたり総コスト(千円)	126.08	106.00	133.99	124.79
1人あたり総コスト(千円)	10.23	5.34	4.29	2.68
㎡あたり物件費等(千円)	91.29	74.42	108.40	100.55
1人あたり物件費等(千円)	7.41	3.79	3.47	2.17
対前年増減率光熱水費(%)	-40.29	-	-16.53	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 総コストは50,441千円増加。また、物件費等も前年度の26,096千円増加。</p> <p>【利用状況】 利用者数が前年度の4割に減少。</p> <p>【施設間比較】 1人あたり総コスト、物件費等ともに同施設分類(その他文化・学習施設)の中で最も高い。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は約1.2倍に増加。</p> <p>【施設間比較】 1人あたり総コスト、物件費等ともに同施設分類(その他文化・学習施設)の中で最も高い。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を理由とした劇場施設の予約のキャンセルが相次ぎ、還付やキャンセル料の未収にかかる経費負担があったため、物件費が増加した。</p> <p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより、利用者が減少した。</p> <p>【施設間比較】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による入館者数の減少及び予約のキャンセルに係る経費負担の増加により、1人あたりの総コスト及び物件費等が割高となっていると考えられる。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 管理運営委託費について、令和5年度より指定管理料での計上に変更したため委託料が増加した。</p> <p>【施設間比較】 老朽化に伴うメンテナンス等に係る人件費、物件費等が増加したため、同施設分類で比較すると1人あたりの総コスト及び物件費等が割高となっていると考えられる。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>コロナ禍によるデジタル化の急速な進展など、新しい生活様式への移行が進み、文化・芸術の分野においても新たな手法を取り入れた事業展開が広がっていることから、演劇公演の動画配信やオンラインワークショップなどデジタル技術を活用した事業展開に取り組むとともに、SNSによる情報発信の充実など多様な手法を用いた情報発信を推進し、利用者の増加を図る。</p> <p>・優れた演劇・音楽公演や生活工房ギャラリーにおける企画展、せたがや国際交流センターの運営など、多様な事業を展開し、誰もが文化・芸術を身近に鑑賞・体験できる機会の充実を図る。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>・施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。</p> <p>・引き続き施設の老朽化に伴うメンテナンスを行い、区民が自ら文化活動及び芸術活動を実践することができる場を継続して提供できるように図っていく。</p>

中央図書館プラネタリウム

◆ 施設概要(令和6年6月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(36年)	343.12㎡	4,778.00㎡	9,933.77㎡	区所有	委託	世田谷サービス公社
住所	構造	階数	複合施設名称			
弦巻3-16-8	RC造	(地上/地下) 3/2	生涯学習部事務室、区史編さん担当事務室、学びの多様化学校(不登校特例校)分教室、中央図書館			





この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	中央図書館	設置根拠	世田谷区立図書館条例
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	世田谷区の児童生徒に学校の授業では得にくい体験学習の場を提供するとともに、一般区民の天文学習機会を充実する		
小区分	プラネタリウム				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種中高層住居専用地域	60	200	19/25m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	-				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	26,101	275,068	68,331	286,759
	物件費等	21,454	195,731	55,405	231,572
	物件費	21,030	60,398	55,204	87,002
	うち光熱水費	952	1,014	1,415	1,377
	うち委託料	14,617	50,458	50,704	77,674
	うち土地建物設備賃借料	0	5,596	1,653	5,843
	維持補修費	424	9,914	201	22,569
	扶助費・補助費等	0	125,419	0	122,001
	減価償却費	3,510	42,874	2,646	41,881
	その他	0	1	0	28
	(配賦)人件費	752	20,623	10,280	13,278
	(配賦)間接コスト	385	15,839	-	-
投資的経費	338	13,882	1,570	14,959	
収入	総収入	2,479	11,812	4,401	10,117
	使用料・手数料	2,477	579	4,401	658
	その他	2	11,233	0	9,459
建物情報	建物取得価額	4,006,823		4,006,823	
	建物減価償却累計額	2,910,481		3,175,070	
	建物残存価額	1,096,342		831,753	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	維持管理業務委託 6,435千円 プラネタリウム設備機器保守点検業務委託 6,435千円 光熱水費 952千円(電気料 564千円)
令和5年度	全天周用デジタルプロジェクター本体交換業務委託 35,200千円 プラネタリウム設備機器保守点検業務委託 6,435千円 維持管理業務委託 6,285千円 配給番組上映権の購入及び番組組込作業委託 1,650千円

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和35年〕	10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.9億円	1.1億円	0.6億円	0.9億円
	物件費等の積算額	2.7億円	8.8億円	3.8億円	11.5億円
	合計	3.6億円	9.9億円	4.4億円	12.4億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 10年間 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		33,864	14,913	21,246	29,191	32,393

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年3月1日から同年6月19日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
利用者数	14,913	37,943	32,393	84,479
㎡あたり総コスト(千円)	76.07	106.00	199.15	124.79
1人あたり総コスト(千円)	1.75	5.34	2.11	2.68
㎡あたり物件費等(千円)	62.53	74.42	161.47	100.55
1人あたり物件費等(千円)	1.44	3.79	1.71	2.17
対前年増減率光熱水費(%)	-9.68	-	-20.19	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 総コストは前年度の約7割に減少。また、物件費も前年度の約7割に減少。</p> <p>【利用状況】 利用者数が前年度の4割に減少。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費等は約2.5倍に増加。</p> <p>【施設間比較】 ㎡あたりの総コストが同施設分類(その他文化・学習施設)の中で最も高い。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、一般投影用番組制作の休止等により施設運営に係る経費が減少したと考えられる。</p> <p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、休館及び利用者数の制限を行ったことにより利用者が減少した。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 プラネタリウム機器は長期保全計画によりほぼ毎年どこかしらの機器の交換等を行っており、対象機器によりコストの費用が異なってくる。令和5年度は、プラネタリウム運営に重要な機器のプロジェクターが対象となったため物件費が例年より大幅に増加している。また、令和5年度より上映番組の質向上のため外部企業から番組上映権の購入を始めた。さらに新型コロナウイルス感染症影響化前の運営状態に戻ったため、運営等に係る人件費も通常に戻った。これらの理由により行政コストが増加したと考えられる。</p> <p>【施設間比較】 令和5年度はプロジェクター交換があり費用が例年より高くなっていることや番組上映権の購入も開始したため、同施設分類で比較すると㎡あたりの総コストが割高になっていると考えられる。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>運営が中央図書館に移管されたことを受け、図書館事業との連携を強化していくとともに、新しい天文学や宇宙物理学の知見を盛り込んだ一般投影番組等の充実を図り、来場者の増加に努めていく。プラネタリウム投影関連機器のメンテナンスは、長期的な保全計画に基づき維持管理を行い経費の平準化を図る。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> ・一般投影や、特別投影(CDコンサート)ごとの当館来場者のニーズを調査し、より魅力的なプログラムを投影することにより、様々な年代の方の来場につなげる。また、図書館との連携を強化していき図書館のみ利用している人たちを顧客として獲得し、来場者の増加に努めていく。 ・プラネタリウム投影関連機器のメンテナンスは、長期的な保全計画に基づき維持管理を行い経費の平準化を図る。

岡本公園民家園

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和55年(44年)	419.31㎡	11,921.83㎡	419.31㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称			
岡本2-19-1	木造	(地上/地下) 1/0	—			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部生涯学習課	設置根拠	世田谷区立公園民家園管理規則
中区分	その他の文化・学習施設		設置目的	区指定文化財古民家を保存・活用し、区の農村の歴史文化を実体として学び、人々の生活からつくり出され、守られてきた文化遺産を継承し、追体験できることを目的に設置	
小区分	民家園				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
その他	世田谷西部地域大蔵・岡本・鎌田・瀬田地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	55,566	275,068	42,811	286,759
	物件費等	37,911	195,731	27,471	231,572
	物件費	20,758	60,398	27,416	87,002
	うち光熱水費	55	1,014	79	1,377
	うち委託料	19,877	50,458	26,246	77,674
	うち土地建物設備賃借料	35	5,596	42	5,843
	維持補修費	17,140	9,914	52	22,569
	扶助費・補助費等	13	125,419	3	122,001
	減価償却費	243	42,874	197	41,881
	その他	0	1	0	28
	(配賦)人件費	12,586	20,623	15,143	13,278
	(配賦)間接コスト	4,826	15,839	—	—
	投資的経費	0	13,882	4,029	14,959
収入	総収入	0	11,812	0	10,117
	使用料・手数料	0	579	0	658
	その他	0	11,233	0	9,459
建物情報	建物取得価額	51,978		51,978	
	建物減価償却累計額	51,294		51,978	
	建物残存価額	684		0	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	維持作業委託 11,107千円	管理業務委託 8,360千円	維持補修費 17,140千円
令和5年度	管理業務委託 14,838千円	維持作業委託 10,765千円	

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和27年〕	10年間	築65年まで 〔令和27年〕
試算	計画改修費	0.2億円	0.4億円	0.4億円	0.4億円
	物件費等の積算額	3.0億円	7.6億円	2.8億円	6.1億円
	合計	3.2億円	8.0億円	3.2億円	6.5億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費

物件費等の積算額 10年間 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		34,052	24,438	21,616	19,308	20,973

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)

令和2年4月1日から同年5月31日

令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
利用者数	24,438	37,943	20,973	84,479
m ² あたり総コスト(千円)	132.52	106.00	102.10	124.79
1人あたり総コスト(千円)	2.27	5.34	2.04	2.68
m ² あたり物件費等(千円)	90.42	74.42	65.51	100.55
1人あたり物件費等(千円)	1.55	3.79	1.31	2.17
対前年増減率光熱水費(%)	-9.84	-	49.06	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 総コストが前年度の約1.4倍に増加。また、物件費等も前年度の約1.7倍に増加。</p> <p>【利用状況】 利用者数が前年度の7割に減少。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 令和2年度と比べ、物件費の委託料が約1.3倍に増加。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 旧長崎家住宅の茅葺屋根の修繕や旧浦野家土蔵の瓦葺屋根の葺き替えを修繕計画に基づき行ったことにより、前年度0円だった維持補修費が大幅に増加し、物件費等が増加した。</p> <p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、臨時休園及び参加型事業や岡本七夕まつり等の中止により、来園者が減少した。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 令和5年度は、施設の管理業務及び維持作業委託に係る人件費のアップ等により物件費(委託料)は増加したが、修繕計画に基づく改修・修繕工事が少なかったことと、維持修繕費に計上していた修繕・改修工事費用を投資的経費としたため、維持修繕費は大幅に減少した。結果として総コストも大きく減少した。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 区の農村の歴史文化を次世代へ継承していくため、展示や事業等を通じた普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子どもに向けた教育活動、若者世代への積極的な働きかけを行い、来園者の増加に努めていく。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 区の農村の歴史文化を次世代へ継承していくため、引き続き展示や体験事業等を通じた普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子どもに向けた郷土学習などの教育活動、若者世代への積極的な働きかけを行い、来園者の増加に努めていく。

次大夫堀公園民家園

◆ 施設概要(令和6年4月1日時点)

竣工年(築年数)	専有(共有含む)	敷地面積	建物全体面積	施設所有区分	運営区分	運営委託先
昭和63年(36年)	1,371.67㎡	17,892.65㎡	1,371.67㎡	区所有	直営	—
住所	構造	階数	複合施設名称			
喜多見5-27-14	木造	(地上/地下) 1/0	—			



この地図の作成に当たっては、国際航業株式会社の承諾を得て、国際航業株式会社に著作権が帰属する白地図データベースを使用しています。

◆ 施設種別

大区分	文化・学習施設	所管	教育政策・生涯学習部生涯学習課	設置根拠	世田谷区立公園民家園管理規則
中区分	その他の文化・学習施設	設置目的	区指定文化財古民家を保存・活用し、区の農村の歴史文化を実体として学び、人々の生活からつくり出され、守られてきた文化遺産を継承し、追体験できることを目的に設置		
小区分	民家園				

◆ 都市計画

用途地域	法定建蔽率(%)	法定容積率(%)	高度地区	準・防火地区	日影
第一種低層住居専用地域	50	100	第一種高度地区	準防火地域	4h-2.5h 1.5m
第二種中高層住居専用地域	60	200	25m第二種高度地区	準防火地域	3h-2h 4m
その他	世田谷西部地域喜多見地区地区計画				

◆ 行政コスト関連(千円)

※端数処理により個々の数値の合計が一致しない場合があります。

		令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
費用	総コスト(投資的経費除く)	114,432	275,068	90,286	286,759
	物件費等	69,114	195,731	57,477	231,572
	物件費	56,199	60,398	56,686	87,002
	うち光熱水費	120	1,014	150	1,377
	うち委託料	51,654	50,458	52,121	77,674
	うち土地建物設備賃借料	108	5,596	115	5,843
	維持補修費	12,878	9,914	753	22,569
	扶助費・補助費等	37	125,419	38	122,001
	減価償却費	12,112	42,874	4,702	41,881
	その他	0	1	0	28
	(配賦)人件費	24,348	20,623	28,107	13,278
	(配賦)間接コスト	8,858	15,839	-	-
	投資的経費	4,109	13,882	47,934	14,959
	収入	総収入	48	11,812	0
使用料・手数料		48	579	0	658
その他		0	11,233	0	9,459
建物情報	建物取得価額	536,153		536,153	
	建物減価償却累計額	482,497		504,315	
	建物残存価額	53,657		31,838	

※評価手法の見直しにより、R4年度の決算額より間接コストの配賦を廃止している。

◆ 物件費等の主な内訳

令和2年度	管理業務委託 43,501千円 維持作業委託 5,844千円 消防設備蓄電池の交換業務委託 1,065千円
令和5年度	管理業務委託 41,021千円 維持作業委託 7,494千円 「せたがや民家園まつり」会場設営・撤去委託 499千円 防犯カメラ設備の修繕・調整委託 499千円

◆ 将来想定経費

		令和3年以降		令和6年以降	
		10年間	築65年まで 〔令和35年〕	10年間	築65年まで 〔令和35年〕
試算	計画改修費	0.7億円	1.5億円	0.3億円	0.9億円
	物件費等の積算額	6.3億円	20.7億円	6.0億円	17.9億円
	合計	7.0億円	22.2億円	6.3億円	18.8億円

※試算について 計画改修費 建物整備・保全計画(R3以降:令和3年9月、R6以降:令和6年3月一部改訂)で見込んでいる計画改修費
物件費等の積算額 施設別行政コスト費用のうち、物件費等(2ヵ年平均)の積算額
10年間 今後10年間の試算(10年以内に築65年を経過する場合は省略)

◆ 利用状況

	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)		47,934	38,243	45,628	53,645	48,240

※施設の利用休止期間(新型コロナウイルス感染症拡大防止策)
令和2年4月1日から同年5月31日
令和3年4月25日から同年5月31日

◆ 施設間比較・分析項目

	令和2年度	施設間平均 (その他施設)	令和5年度	施設間平均 (その他施設)
利用者数	38,243	37,943	48,240	84,479
m ² あたり総コスト(千円)	83.42	106.00	65.82	124.79
1人あたり総コスト(千円)	2.99	5.34	1.87	2.68
m ² あたり物件費等(千円)	50.39	74.42	41.90	100.55
1人あたり物件費等(千円)	1.81	3.79	1.19	2.17
対前年増減率光熱水費(%)	-43.13	-	-5.66	-

◆ 施設間比較・分析の考察

令和2年度 決算 データ分析	<p>【行政コスト】 総コストは11,774千円増加。また、物件費等も前年度の約1.2倍に増加。</p> <p>【利用状況】 利用者が前年度の8割に減少。</p>
令和5年度 決算 データ分析	<p>【利用状況】 利用者が前年度の約9割に減少。</p>

◆ 考察に対する見解、理由、原因、考察以外の課題

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【行政コスト】 消防設備蓄電池の老朽化に伴う交換を臨時に行ったことにより委託料が増加した。また、旧谷岡家表門の茅葺屋根の修繕を修繕計画に基づき行ったことにより維持補修費が増加した。</p> <p>【利用状況】 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、臨時休園及び参加型事業や区内小学校の社会科見学等が中止となったことにより、来園者が減少した。</p>
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<p>【利用状況】 令和5年度は、コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止していた参加型事業やせたがや民家園まつり等について、実施方法等を見直した上で再開したが、夏場の酷暑や、旧加藤家茅葺屋根改修工事等により、主屋の見学を一部制限したことにより、来園者が前年度より減少した。</p>

◆ 今後の方向性、具体的な取組み

令和2年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 区の農村の歴史文化を次世代へ継承していくため、展示や事業等を通じた普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子どもに向けた教育活動、若者世代への積極的な働きかけを行い、来園者の増加に努めていく。
令和5年度 決算 データ分析 を踏まえて	<ul style="list-style-type: none"> 施設保全の中長期計画を踏まえ、施設の適正管理や計画的な改修に努めるとともに、維持管理にかかる経費の精査を行い、引き続き経費節減に取り組む。 区の農村の歴史文化を次世代へ継承していくため、引き続き展示や体験事業等を通じた普及活動に取り組むとともに、次世代を担う子どもに向けた郷土学習などの教育活動、若者世代への積極的な働きかけを行い、来園者の増加に努めていく。